

横浜美術館からみえる「観光」

横浜美術館が3年の休館を経て2024年3月15日からリニューアルオープンします。オープンと同時に3年に一度開催されるアートの国際展覧会「横浜トリエンナーレ」も開催されます。ポストコロナの新しい横浜美術館は、アートを通して新しいものに出会う、お互いを受け入れることで誰もが自分らしくいられる、そのことによってみんなが生きる力を得ることができる、そんな美術館を目指していきます。そんな横浜美術館から「観光」はどう見えているのか、みなとみらい地区の各企業とアートを通じて連携を深めている襟川文恵さんに大いに語っていただきます。



撮影：笠木靖之

日時：2024年1月24日（水）
16:00-17:30

場所：1階 米田吉盛記念ホール

講演者：襟川文恵氏

横浜美術館渉外担当リーダー

プロフィール：

石油系商社、生命保険会社、婚礼装花企画会社、茶道家元事務局での勤務を経て、2005年から森美術館でディベロップメント業務を担当。同館の個人・法人のメンバーシップ運営に携わる。2013年から現職。ファンドレイジング、外部連携（個人・法人・団体）などを展開。美術館の視点からオープンイノベーションの推進や、多様性を受け入れる社会、ウェルビーイングの実現を目指して活動中。

【問い合わせ先：山口太郎】

ytaro●kanagawa-u.ac.jp（●を@にして送信してください）



撮影：
小川貴徳